

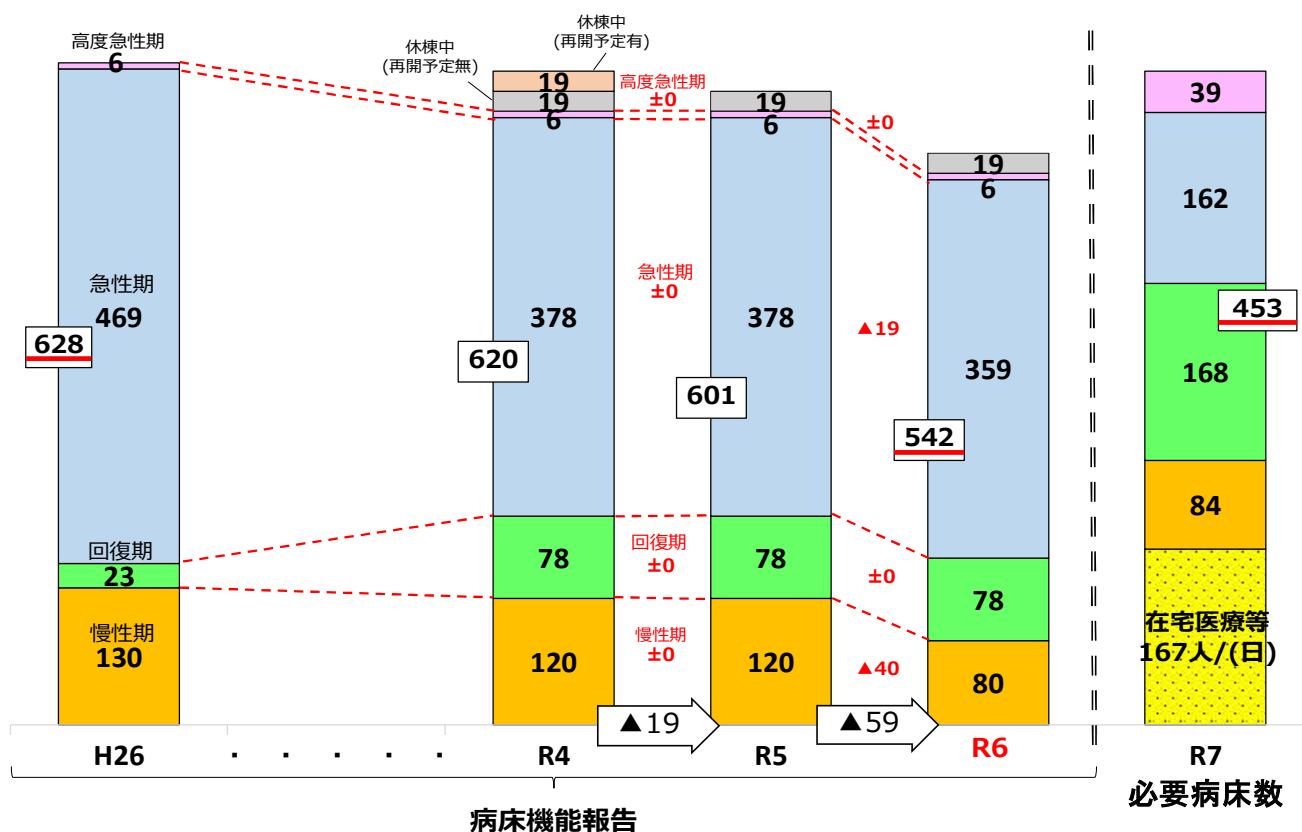
令和6年度 病床機能報告（病床の機能分化・連携の状況）

～ 県の意見 ～

下北地域の令和6年度病床機能報告の病床数は、全体で542床となっており、前年比では59床減床しているものの、地域医療構想で定める令和7年の必要病床数453床を89床上回る状況です。

医療機能別では、急性期機能病床が必要病床数162床を197床上回り、回復期機能病床が必要病床数168床を90床下回る状況です。

県としては、引き続き、**病床の機能分化・連携を進めていくことが必要**と考えています。



(単位: 床)

	H26 病床機能 報告		R4 病床機能 報告	R5 病床機能 報告	R6 病床機能 報告①	R7 必要病床数 ②	② - ①
高度急性期	6		6	6	6	39	33
急性期	469		378	378	359	162	▲197
回復期	23		78	78	78	168	90
慢性期	130		120	120	80	84	▲4
休棟中 (再開予定有)			19	19	19		▲19
休棟中 (再開予定無)			19	0	0		0
無回答	0		0	0	0		0
合計	628		620	601	542	453	▲89

(R7.6月参考値※ 542

▲89)

※医療業務課調べ

2. 前年度報告内容との比較

区分	市町村	施設名称	医療機能区分						前年度報告からの増減	左の内訳	R7.6までの増減
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中 (再開予定有)	休棟中 (再開予定無)			
病院	むつ市	むつ総合病院	6	311	59				376		
	むつ市	むつリハビリテーション病院				80			80	▲ 40	慢性期▲40
	大間町	国民健康保険大間病院		48					48		
	下北地域病院 小計		6	359	59	80	0	0	504	▲ 40	0
診療所	むつ市	国民健康保険 川内診療所					19		19		
	むつ市	国民健康保険 大畑診療所								▲ 10	急性期▲10
	むつ市	中村眼科クリニック								▲ 9	急性期▲9
	東通村	一部事務組合下北医療センター東通村診療所			19				19		
	下北地域有床診療所 小計		0	0	19	0	19	0	38	▲ 19	0
下北地域 合計			6	359	78	80	19	0	542	▲ 59	0

下北地域における病院の機能分化・連携の方向性

～地域医療構想に基づく各病院の取組～

地域医療構想に掲げる施策の方向	現 状	具体的な取組内容 (H28年度地域医療構想調整会議において県から提案した内容)
むつ総合病院 ① 急性期機能の充実 ② 回復期機能の充実・強化 ③ 圏域内自治体病院等への支援 ④ 圏域の在宅医療の提供	むつ総合病院 (一般376床) 1. 病床稼働率71.3% 病床利用率66.3% 2. 救急車受入件数:2,969件 3. 平均在院日数:14.3日 4. 常勤医師数:59人	2次医療圏での地域完結型の医療提供体制の構築 《むつ総合病院》 ア 圏域の中核病院として、急性期医療機能の充実を図るとともに、圏域内の医療機関の支援や弘前大学医学部附属病院・県立中央病院など圏域外の高度・専門病院との連携強化を図る。 イ 病床稼働率等を踏まえ病床規模の見直しを進めるとともに、回復期機能の充実・強化を図る。 ウ 訪問看護ステーションの設置(併設)等在宅医療提供体制の構築を図り、関係機関と連携して、在宅医療に取り組む。 《大間病院》 エ 北通り地区の医療の拠点として、へき地等医療に取り組むとともに、地域の医療需要を踏まえた病床規模の見直し及び回復期機能の充実を図る。 オ 関係機関と連携し、在宅医療の需要に対応する。 《むつリハビリテーション病院》 カ むつ総合病院等と連携し、老健への転換を含め、慢性期機能の充実を図るとともに、関係機関と連携し、西通り地区の在宅医療の需要に対応する。 《一部事務組合立診療所》 キ 病床稼働率を踏まえ、病床規模の見直し及び在宅医療を実施していくとともに、むつ総合病院、市町村等関係機関と連携して在宅医療の需要に対応する。 《下北地域の共通課題》 ク 回復期病床が他地域と比較して少ないことを勘案し、病床機能の見直しを進める必要がある。
その他の自治体病院等 ① 病床規模の縮小 ② 回復期・慢性期の機能確保 ③ むつ総合病院との連携体制の構築 ④ 在宅医療(介護施設等を含む)の提供 ⑤ へき地医療拠点病院(むつ総合病院、大間病院)を中心とした効率的なへき地等医療提供体制の整備	大間病院 (一般48床) 1. 病床稼働率:58.7% 病床利用率:55.1% 2. 救急車受入件数:323件 3. 平均在院日数:16.4日 4. 常勤医師数:6人	ケ その他の医療機関は、在宅医療等の需要の増加への対応について、市町村等関係機関とも連携して取り組んでいく。
民間医療機関 ・自治体病院との役割分担と連携の明確化	むつリハビリテーション病院 (療養80床) 1. 病床稼働率:89.3% 病床利用率:88.6% 2. 救急車受入件数:0件 3. 平均在院日数:136.1日 4. 常勤医師数:3人	
※令和6年度病床機能報告に基づき県が推計 ○ 病床機能報告制度は、医療法に基づき、医療機関には報告が義務付けられており、地域医療構想で推計した必要病床数への収れんの状況及び医療機能ごとの病床数を 確認する唯一の手段となっている。 ○ 調整会議においては、報告のない病床については、将来的に稼働する意向がないものとする。		